

令和3年2月1日

職員の皆様へ

鳳凰会グループ

林 名誉会長

新型コロナワクチン接種後の世の中を考える（所感）

業務お疲れ様です。

コロナワクチンに効果については、重症化を抑えるためとメーカーは言っています。

ですから、ワクチン接種した人でも症状がなくウイルスを吐き出す人は、今と同じように、存在します。

ワクチン接種して症状のないウイルスを吐き出している人がいますから、今皆様にやっていただいている防護策は、まだまだ必要になると思います。

油断すると院内感染になります。いわゆるクラスターを作り出します。

ですから、毎年、発熱外来が必要になると考えています。へたすると一年中です。

また、効果の期間が半年とか1年とか言われていますから（メーカー）、毎年ワクチン接種が必要になる可能性は高いです。

後遺症は軽症者でも出ます。当然、コロナに罹らないにこしたことはありません。

インフルエンザワクチンは70%の有効率と言っているも実態は40~45%と幾つか論文が出ています。もし同じ率での実態だとすると、コロナワクチンの有効率はメーカー発表では95%ですから、もしかしたら実態はざっぱに6掛けで計算して55%くらいになります。

実態の効果無しが45%というのは、英国・仏国の人口に近いです。約6000万人です。

ちなみに、有効率とは簡単に言うと、『感染した人がワクチンを接種していたら感染しなかった人の確率』です。

ワクチン接種したからもう大丈夫とマスクをしなかったりと、コロナ感染拡大前の生活に戻る人は、多いと推測します。

最悪は、ワクチン接種しました→フリーに飲食（大声）・マスク無しがオッケイ・インバウンド開始→感染拡大、となる気がします。

コロナは変異が早く、南アフリカ株は今回のワクチンが効きにくいとの論文がイギリスやドイツで数編出ています。それに対してワクチンメーカーは南アフリカ株に対応できるワクチンは半年あれば出来ると答えていますから、今のワクチンは南アフリカ株には効きにくい可能性は高いです。

いつかは、今のワクチンでは効果が全く無いコロナウイルスが出てくると思います。

インフルエンザワクチンと同様に、何種類かの混合ワクチンが必要になるはずですが。

いずれにしても、今の防護＝サージカル＋フェイスシールドは、長ければ数年間も必要になると思います。常に感染防衛が必要な今の日常が多少ゆるくなった状態が、ワクチン接種後の世界と考えて下さい。コロナ感染拡大前の世界には直ぐには戻りません。

短期間でコロナ感染が無くなる日がすぐに来ると考えるのは諦めて、『気持ちをのんびり構え、コロナに感染しないように気をつけながら生活するんだ』と達観して日常に向かい合ひましょう。

書いたことが間違っている事を心から願います。

以上